

## 京都市地区小学校教科書選定委員会 答申

「国語科（書写）」について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

### 選定の観点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。
- 3 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。
- 4 毛筆学習の成果が硬筆書写に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。
- 5 単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 6 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 7 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

## 調査研究の結果の概要

### ■東京書籍「新しい書写」

巻頭に学びを見通すイラストマップが示され、1年間の学習目標やそれぞれの学習の関連性やめあてがイメージしやすいえ、文字を正しく整えて書くために必要な知識・技能として、学年を横断した「書写のかぎ」が示されており、文字を書く上で大切なことを意識して活動に取り組めるよう、工夫されている。全学年に配置されている「文字のいずみ」では、「日本の文字の歴史」で、文字そのものと文字を書くこととの二つの側面から、いろいろな時代の文字を取り上げて紹介するなど、文字文化への理解を深めることができるよう、工夫されている。

各教材は「見つけよう」から「生活に広げよう」までの5段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、「生活に広げよう」では習得した知識・技能を活用する言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。また、「書写のかぎ」を核にした学習活動の中で、課題発見、話し合い活動が提示されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう、工夫されている。

硬筆学習では、毛筆学習で学んだ書き方のポイントを他の文字でも確認できるよう同じページ内に「生かそう」が設定されており、毛筆と硬筆の関連が図られるよう、工夫されている。

「学びを生かそう」では、これまでの学習を振り返り、身近な言葉や本、歌、詩などから、書きたい言葉とめあてを決めて、発展的な学習に取り組めるよう、工夫されている。また、「生活に広げよう」では「実験したことを記録しよう」(理科)など、習得した知識・技能を日常生活の場面で活用する単元が設けられている。

### ■学校図書「みんなと学ぶ 小学校書写」

巻頭に目次と学年での学習のめあてが示されており、1年間の学びを見通すことができるとともに各教材にも学習のめあてが明示され、教材文字と共にキャラクターのセリフとして文字を書く上でのヒントや確認事項が示されており、児童が学習のめあてを意識しながら、学習に取り組めるよう、よく工夫されている。全学年において、「なぜ?なに?書写のふしぎ」で、平仮名の成り立ちや現代まで伝承されている詩歌を掲載するなど、文字文化に対する視野を広げることができる。

各教材は「確かめて書こう」、「考えて書こう」、「生かして書こう」の3段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、巻末の「書写の資料館」には習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。また、学習活動の中で、課題発見、話し合い活動や学習したことを振り返る場面が設定されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう工夫されている。一方、1年間の学習を振り返る活動では、学習のめあてや活動も明示されているため、児童自らが課題を設定した発展的な学習にはつながりにくい。

硬筆学習では、毛筆学習で学んだ書き方のポイントを他の文字でも確認できるよう「生かして書こう」、「振り返ろう」が設定されており、毛筆と硬筆の関連が図られるよう工夫されている。他教科等との関連については、国語科と関連した単元は設定されているが、各教科等に繋がる内容を取り上げた単元が他社と比較して少ない。

## ■教育出版「小学 書写」

巻頭に目次と学年で学習する内容が示されており、1年間の学びを見通すことができるとともに、各教材にも学習のめあてが明示され、課題発見を促す「考えよう」や、文字を書く上で気を付けることを学習前に確認する「ここが大切」が設定されており、児童が学習のめあてを意識しながら、学習に取り組めるよう、よく工夫されている。全学年において、「知りたい 文字のせかい」で「手書き文字」と「活字」を比較することで違いを見つける活動を設定するなど、文字への興味・関心を高める工夫がなされている。

各教材は「学習のめあてを確かめよう」から「学習したことをふり返ろう」の7段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、適所に設定されている「レッツ・トライ」、「書いて伝え合おう」には習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。また、学習活動の中で、課題発見、話し合い活動の手順が児童にも理解しやすいよう、丁寧に提示されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう、よく工夫されている。

毛筆学習の前後に、同じ文字を硬筆で書く「ためし書き・まとめ書き」の記入欄が隣同士に設定されており、児童自身が学習前後の変容を確認でき、毛筆と硬筆の関連を図ったり、これまでに学習した筆遣いを見開き頁の中で視覚的に振り返った後、学んだ技能の中から、自らが課題を見つけて、発展的な学習に取り組むことができる。

他教科等との関連については、「てんらん会作品のカード」(図画工作科)などと関連させて、習得した知識・技能がどの教科で活用できるのか、また、そのためにどのように学習を進めればいいのか分かりやすく示されており、よく工夫されている。

## ■光村図書「書写」

巻頭に目次と学習の進め方が示されており、1年間の学びを見通すことができるとともに、各教材でのポイントを端的に示した「たいせつ」が設定され、児童が自分のめあてをもち、学習に取り組めたり、文字を書く上で大切なことを意識して活動に取り組めたりするよう工夫されている。全学年において、「漢字図かん」で漢字の成り立ちをイラストで紹介するなど、文字への興味・関心を高める工夫がなされている。

各教材は「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の3段階の問題解決的な学習で構成され主体的・対話的な学習に繋がる課題発見、話し合い活動が提示されている。また、学年末の「資料」には習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がる指導が展開しやすいとともに、これまでに学習した筆遣いを振り返った後、学んだ技能の中から、自らが課題を見つけて、発展的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。

毛筆学習で書いた文字を硬筆で書くことができる「硬筆のまとめ」を設定し、毛筆と硬筆の関連が図れるようになっている。また、他教科等との関連については、社会科の学習を取り上げ、他教科で生かせる「横書きの書き方」において、横書きの際の読点の打ち方にも気付かせるなど、工夫されている。

## ■日本文教出版「小学書写」

巻頭には目次と学年の目標が示されており、1年間の学びを見通すことができるとともに、

各教材に課題発見を促す「考える」や、文字を書く上でのポイントが枠囲みで示されており、児童が自分のめあてをもち、学習に取り組むことができるよう工夫されている。伝統的な言語文化との関連については、全学年において「書き初め」が取り上げられているが、平仮名や片仮名ができるまでの過程やもとになった漢字、行書、様々な時代の文字や漢字以外の文字の取扱いが一部の学年にとどまっており、他社と比較して教材数が少ない。

各教材は「試し書きをする」から「ふり返る」までの6段階の問題解決的な学習で構成され、学習活動の中で、課題発見、話し合い活動が提示されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう工夫されている。また、複数教材ごとに「生活と書写」として、習得した知識・技能を活用する言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がる指導が展開しやすいとともに、これまでに学習した筆遣いを具体的な文字を示して振り返った後、学んだ技能の中から、自らが課題を見つけて、発展的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。

硬筆学習では、毛筆学習で学んだ書き方のポイントを他の文字でも確認できるよう「いかす」が設定されており、毛筆と硬筆の関連が図れるようになっている。また、他教科等との関連については、国語科と関連した単元は設定されているが、各教科等に繋がる内容を取り上げた単元が他社と比較して少ない。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

国語科(書写)

観点別・視点別評価

「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る

選定の観点		選定の視点		東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書	日本文教
1	基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1	毛筆の基礎学習の工夫	○	○	○	○	○
		2	単元のめあての明確化	○	◎	◎	○	○
		3	伝統的な言語文化との関連	○	○	○	○	△
2	習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。	1	問題解決的な学習における言語活動の展開	○	○	○	○	○
3	児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。	1	主体的・対話的な学習に向けた工夫	○	○	◎	○	○
		2	発展的な学習に繋げる工夫	○	△	○	○	○
4	毛筆学習の成果が硬筆書写に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。	1	毛筆と硬筆の関連	○	○	○	○	○
		2	基本点画のわかりやすさ	○	○	○	○	○
5	単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。	1	単元構成の系統性・発展性	◎	○	○	○	○
		2	他教科や教育課題等との関連	○	△	◎	○	△
		3	他校種との接続	○	○	○	○	○
		4	家庭・地域との連携	○	○	○	○	○
6	基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1	人権教育の推進	○	○	○	○	○
		2	道徳教育の推進	○	○	○	○	○
7	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文章や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさの工夫	○	○	○	○	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	○

【国語（書写）】観点別資料

【選定の観点1】

基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行者名				
2 東書	11 学図	17 教出	38 光村	116 日文
<p>○イラストや写真を付して、書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方が掲載されており、分かりやすく円滑に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○学習のめあてが明示されていないが、文字を正しく整えて書くために必要な知識・技能として、学年を横断した「書写のかぎ」が示されており、文字を書く上で大切なことを意識して活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○全学年において、「文字のいずみ」では、「日本の文字の歴史」で、文字そのものと文字を書くこととの二つの側面から、いろいろな時代の文字を取り上げて紹介するなど、文字文化への理解を深める工夫がなされている。</p>	<p>○イラストや写真を付して、書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方が掲載されており、分かりやすく円滑に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○学習のめあてが明示されているとともに、教材文字と共にキャラクターのセリフとして文字を書く上でのヒントや確認事項が示されており、児童が学習のめあてを意識しながら、学習に取り組めるよう、よく工夫されている。</p> <p>○全学年において、「なぜ？なに？書写の不思議」で、平仮名の成り立ちや現代まで伝承されている詩歌を掲載するなど、文字文化に対する視野を広げる工夫がなされている。</p>	<p>○イラストや写真を付して、書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方が掲載されており、分かりやすく円滑に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○学習のめあてが明示されているとともに、各教材に課題発見を促す「考えよう」や、文字を書く上で気を付けることを学習前に確認する「ここが大切」が設定されており、児童が学習のめあてを意識しながら、学習に取り組めるよう、よく工夫されている。</p> <p>○全学年において、「知りたい 文字のせかい」で「手書き文字」と「活字」を比較することで違いを見つける活動を設定するなど、文字への興味・関心を高める工夫がなされている。</p>	<p>○イラストや写真を付して、書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方が掲載されており、分かりやすく円滑に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○学習のめあてが明示されていないが、各教材でのポイントを端的に示した「たいせつ」が設定され、児童が自分のめあてをもち、学習に取り組めたり、文字を書く上で大切なことを意識して活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○全学年において、「漢字図かん」で漢字の成り立ちをイラストで紹介するなど、文字への興味・関心を高める工夫がなされている。</p>	<p>○イラストや写真を付して、書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方が掲載されており、分かりやすく円滑に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○各教材に課題発見を促す「考える」や、文字を書く上でのポイントが枠囲みで示されており、児童が自分のめあてをもち、学習に取り組める工夫がなされている。</p> <p>○全学年において、「書き初め」が取り上げられているが、平仮名や片仮名ができるまでの過程やもともなった漢字、行書、様々な時代の文字や漢字以外の文字の取扱いが一部の学年にとどまっており、他社と比較して教材数が少ない。</p>

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。

発行者名				
2 東書	11 学図	17 教出	38 光村	116 日文
○各教材が5段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、複数教材ごとに「生活に広げよう」として、習得した知識・技能を活用する言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。	○各教材が3段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、巻末の「書写の資料館」には習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。	○各教材が7段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、適所に設定されている「レッツ・トライ」,「書いて伝え合おう」には習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。	○各教材が3段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、他教科での学習が適所に設定されていたり、学年末の「資料」には習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。	○各教材が6段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、複数教材ごとに「生活と書写」として、習得した知識・技能を活用する言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に繋がるよう工夫されている。

【選定の観点3】

児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。

発行者名				
2 東書	11 学図	17 教出	38 光村	116 日文
○「書写のかぎ」を核としながら、「見つけよう」から「生活に広げよう」までの5段階の学習活動の中で、課題発見、話し合い活動が提示されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○「学びを生かそう」では、これまでに学習したことを振り返り、身近な言葉や本、歌、詩などから、書きたい言葉を決めて、自分のめあてをもって発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。	○「確かめて書こう」、「考えて書こう」、「生かして書こう」の3段階の学習活動の中で、課題発見、話し合い活動が提示されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○1年間の学習を振り返る活動では、学習のめあてや活動も明示されているため、児童自らが課題を設定した発展的な学習にはつながりにくい。	○「学習のめあてを確かめよう」から「学習したことをふり返ろう」までの7段階の学習活動の中で、課題発見、話し合い活動が児童にも理解しやすいよう、丁寧に提示されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○これまでに学習した筆遣いを見開き頁の中で視覚的に振り返った後、学んだ技能の中から、自らが課題を見つけて、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。	○「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の3段階の学習活動の中で、課題発見、話し合い活動が提示されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○これまでに学習した筆遣いを振り返った後、学んだ技能の中から、自らが課題を見つけて、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。	○「試し書きをする」から「ふり返る」までの6段階の学習活動の中で、課題発見、話し合い活動が提示されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○これまでに学習した筆遣いを具体的な文字を示して振り返った後、学んだ技能の中から、自らが課題を見つけて、発展的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。

【選定の観点4】

毛筆学習の成果が硬筆書写に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。

発行者名				
2 東書	11 学図	17 教出	38 光村	116 日文
<p>○硬筆学習では、毛筆学習で学んだ書き方のポイントを他の文字でも確認できるよう同じページ内に「生かそう」が設定されており、毛筆と硬筆の関連が図られるよう、工夫されている。</p> <p>○毛筆学習において、点画を書く時の動きを擬音語とイラストを用いながら示しており、児童の理解に繋がるよう工夫されている。</p>	<p>○硬筆学習では、毛筆学習で学んだ書き方のポイントを他の文字でも確認できるよう「生かして書こう」、「振り返ろう」が設定されており、毛筆と硬筆の関連が図られるよう、工夫されている。</p> <p>○毛筆学習において、点画を書く時の動きを擬音語とイラストを用いながら示しており、児童の理解に繋がるよう工夫されている。</p>	<p>○毛筆学習の前後に、同じ文字を硬筆で書く「ためし書き・まとめ書き」の記入欄が隣同士に設定されており、児童自身が学習前後の変容を確認でき、毛筆と硬筆の関連が図られるよう、工夫されている。</p> <p>○毛筆学習において、点画を書く時の動きを擬音語とイラストを用いながら示しており、児童の理解に繋がるよう工夫されている。</p>	<p>○毛筆学習で書いた文字を硬筆で書くことができる「硬筆のまとめ」を設定し、毛筆と硬筆の関連が図られるよう工夫されている。</p> <p>○毛筆学習において、点画を書く時の動きを擬音語とイラストを用いながら示しており、児童の理解に繋がるよう工夫されている。</p>	<p>○硬筆学習では、毛筆学習で学んだ書き方のポイントを他の文字でも確認できるよう「いかす」が設定されており、毛筆と硬筆の関連が図られるよう、工夫されている。</p> <p>○毛筆学習において、点画を書く時の動きを擬音語とイラストを用いながら示しており、児童の理解に繋がるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5】

単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行者名				
2 東書	11 学図	17 教出	38 光村	116 日文
<p>○巻頭に学びを見通すイラストマップが示され、1年間の学習目標やそれぞれの学習の関連性、めあてがイメージできるよう、よく工夫されている。</p> <p>○「生活に広げよう」では、「実験したことを記録しよう」(理科)などと関連させて、習得した知識・技能を日常生活の場面で活用する単元が設けられている。</p> <p>○第6学年では、中学校で学習する行書の紹介等、中学校との接続に配慮されている。</p> <p>○裏表紙に「豊かな学びが未来を拓く」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○巻頭に、目次と共に学習のめあてが示されており、1年間の学びを見通すことができるよう工夫されている。</p> <p>○国語科と関連した単元は設定されているが、各教科等につながる内容を取り上げた単元が他社と比較して少ない。</p> <p>○第6学年「発展」では中学校で学習する行書を紹介し接続に配慮されている。</p> <p>○裏表紙に「保護者の方へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○巻頭に、目次と共に各学年で学習する内容が示されており、1年間の学びを見通すことができるよう工夫されている。</p> <p>○「てんらん会作品のカード」(図画工作科)などと関連させて、習得した知識・技能がどの教科で活用できるのか、また、そのためにどのように学習を進めればよいのかが分かりやすく示されており、よく工夫されている。</p> <p>○第6学年「発展」では中学校で学習する行書を紹介し接続に配慮されている。</p> <p>○裏表紙に「先生方・保護者の皆様へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○巻頭に、目次と共に学習の進め方が示されており、1年間の学びを見通すことができるよう工夫されている。</p> <p>○社会科の学習を取り上げ、他教科で生かせる「横書きの書き方」において、横書きの際の読点の打ち方にも気付かせるなど、工夫されている。</p> <p>○第6学年「発展」では中学校で学習する行書を紹介し接続に配慮されている。</p> <p>○裏表紙に「保護者の皆様へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○巻頭に、目次と共に学年の目標が示されており、1年間の学びを見通すことができるよう工夫されている。</p> <p>○国語科と関連した単元は設定されているが、各教科等につながる内容を取り上げた単元が他社と比較して少ない。</p> <p>○第6学年「チャレンジ」では中学校で学習する行書を紹介し接続に配慮されている。</p> <p>○裏表紙に「先生、保護者の皆様へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>

【選定の観点6】

基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行者名				
2 東書	11 学図	17 教出	38 光村	116 日文
<p>○「なかよくあそぶ」「何にでもチャレンジ」といった、友情や向上心など道徳性の育成に繋がる文字が教材文字として示されている。</p> <p>○手紙や寄せ書きなど、他者を思いやる教材が取り上げられており、人権教育や道徳教育の視点に配慮されている。</p>	<p>○「親切な子」「美しい心」といった、思いやりや人間性など道徳性の育成に繋がる文字が教材文字として示されている。</p> <p>○卒業生への感謝を伝えるメッセージカードや次年度への目標を書く教材などが取り上げられており、人権教育や道徳教育の視点に配慮されている。</p>	<p>○「友だち」「旅立ちの時」といった、友情や未来など道徳性の育成に繋がる文字が教材文字として示されている。</p> <p>○友達の良いところや感謝の気持ちを伝えるカードやお礼状など、他者を思いやる教材が取り上げられており、人権教育や道徳教育の視点に配慮されている。</p>	<p>○「美しい空」「きずな」といった、自然や友情など、道徳性の育成に繋がる文字が教材文字として示されている。</p> <p>○手紙や将来の夢や願いを書く教材などが取り上げられており、人権教育や道徳教育の視点に配慮されている。</p>	<p>○「生きる力」「将来の夢」といった、向上心や未来を意識し、道徳性の育成に繋がる文字が教材文字として示されている。</p> <p>○手紙の書き方では他者を思いやる教材が取り上げられており、人権教育や道徳教育の視点に配慮されている。</p>

【選定の観点7】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名				
2 東書	11 学図	17 教出	38 光村	116 日文
○幅の広いA B版で、字間や行間も読みやすく、配色やレイアウトも工夫されている。 ○UDフォントが採用されており、色覚特性に対しても配慮されている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。	○B 5版で、字間や行間も読みやすく、配色やレイアウトも工夫されている。 ○UDフォントが採用されており、色覚特性に対しても配慮されている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。	○B 5版で、字間や行間も読みやすく、色使いやレイアウトも工夫されている。 ○UDフォントやCUDが採用されている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。	○B 5版で、字間や行間も読みやすく、配色も工夫されている。 ○UDフォントやCUDが採用されており、カラーユニバーサルデザインの専門家による校閲がなされている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。	○B 5版で、字間や行間も読みやすく、配色やレイアウトも工夫されている。 ○CUDが採用されており、特別支援教育の専門家による校閲がなされている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。

※CUD：カラー・ユニバーサル・デザイン，UDフォント：ユニバーサル・デザインフォント